

婚活イベント

御船 de ジュラシック婚 参加者募集



「昔は普通に恋をしていたのに…」

「なかなか出会いがない」というそのあなた。
まずはこの機会に一步を踏み出してみませんか？



今回開催する婚活イベントは、通算で6回目のイベントになります。御船町のシンボルである「恐竜博物館」を活用し、ナイトミュージアムという特別なシチュエーションを用意することで、参加した男女がより距離を縮めるきっかけを掴んでもらいます。

近年、男女の出会いの場の減少、晩婚化が進んでいます。このイベントを通して、ぜひ、ステキな出会いを掴んで結婚し、御船町で生活をして欲しいと思います。そしてこのイベントが、御船町の魅力の発信になり、町への交流人口の増加、地域おこしにつながることを期待しています。皆さんのご参加をお待ちしています。



婚活コーディネーター × 荒木直美さん

県内のテレビやFMラジオで活躍をされており、これまでに、様々な婚活事業を展開し、1000組を超えるカップルを成立させてきた凄腕コーディネーター。

Araki Naomi
長崎県出身 / 1968年生

全国瞬時警報システム (Jアラート)

全国一斉情報伝達訓練 を実施します

☎ 総務課 地域・防災係
☎ 282-1111

全国瞬時警報システム(Jアラート)による防災行政無線での情報伝達訓練を次の日程にて行います。

Jアラートとは

Jアラート(全国瞬時警報システム)とは、弾道ミサイルに関する情報や緊急気象警報などの情報を、人工衛星や地上回線を通じて、全国の市町村等に送信し、防災行政無線などで瞬時に住民に伝達するシステムのこと。

全国一斉情報伝達訓練を実施

「これは、Jアラートのテストです」と放送されます。お間違えのないようお願いします。

■実施日時
2月19日(水)
11時頃



■開催日時 令和2年3月14日(土)

16時～21時終了予定

■開催場所 御船町観光交流センター

(御船町御船 1003-1・恐竜博物館横)

■参加資格 男性 町内在住もしくは町内に職場がある人
女性 どなたでも参加できます
(男性45歳・女性40歳までの独身者)

■募集人数 男女各20人

■参加費 男性 2,000円 女性 2,000円

■申込方法 御船ライオンズクラブへ申込。

■申込期限 令和2年2月28日(金)
※定員を上回った場合は抽選により決定。
※飲み物にアルコールはありませんのでご了承ください。

主催 御船ライオンズクラブ／後援 御船町

☎ 御船ライオンズクラブ事務局

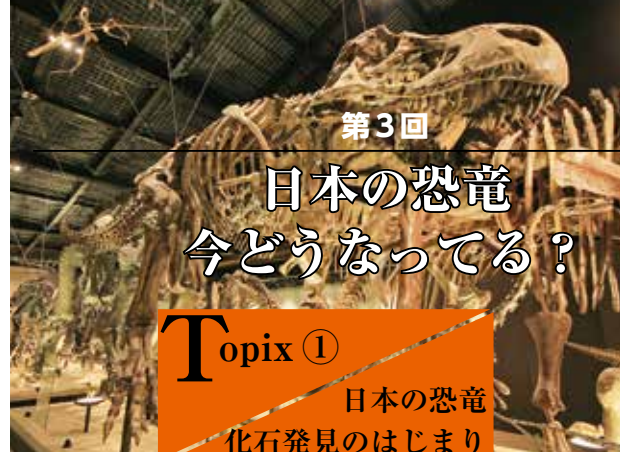
〒861-3207 御船町御船1074 みすみや薬局2階

E-mail : mifune-lc@mx36.tiki.ne.jp

☎ 282-3778 (平日13時～17時) / FAX 282-3822

役場企画財政課 コミュニティ推進係

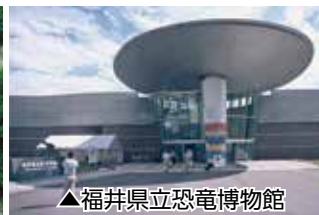
☎ 282-1263 (平日8時30分～17時)



恐竜化石は貴重な自然遺産。メディアでも大きく取り上げられるため、多くの自治体はその保護と活用に取り組むようになってきました。最近、北海道むかわ町のカムイサウルス(むかわ竜)が注目を集めていますが、他の地域はどうでしょうか?今回は国内での恐竜化石発見の状況を見ていきましょう。

日本初の恐竜化石は、岩手県岩泉町で発見された「モシリリュウ」と呼ばれる化石です。大型草食恐竜の腕の骨と見られるこの化石は、1978年に発見されました。そして2番目が「ミフネリュウ」、1979年の発見です。その後、群馬県神流町や福島県いわき市などでも見つかるようになりました。

1982年、中学生の少女が石川県白峰村(現白山市)で見つけた歯の化石がきっかけとなって、白山を取り巻く北陸・中部地方で恐竜化石発見が相次ぐようになりました。この地域には手取層群と呼ばれる川や湖で堆積した地層が広く分布しています。特に福井県では、1988年から県立博物館による発掘調査が続けられており、毎年のようにその成果が発表されています(下写真参照)。



地層は運搬された泥や砂が堆積することによってつくられます。恐竜は陸上動物ですので、川や湖でできる地層にそれらの化石が残りやすく、時々骨が集まって層を成すこともあります。一方、陸から遠く離れ、海まで流されて化石になる数は相対的に少ないといえます。しかし、カムイサウルスのように海でできた地層からも状態の良い化石が見つかることがあります。

池上直樹の 恐竜 そうだったのか!!

→最近、何かと話題となっている恐竜や博物館。
→恐竜博物館の池上博士が最新の恐竜事情についてわかりやすく解説します。
→今現在の日本の恐竜事情を詳しく紹介。



Topix ② 恐竜化石 発見ラッシュ!

1990年代に入ると、福岡県(宮若市、北九州市)や御船町天君ダム(御船層群上部層)など、九州の川や湖で堆積した地層からも見つかるようになってきました。「ジュラシックパーク」の映画化もあり、世界中で恐竜ブームが巻きおこり、御船町でも発掘調査が本格化。相次ぐ発見に触発される形で1997年には天草市(御所浦町)でも恐竜化石が見つかり始めました。その後、兵庫県(丹波市など)、鹿児島県(薩摩川内市甕島)、長崎県(長崎市、西海市)など、各地で新たな発見が続きました。現在、40を超える市町村から恐竜化石が見つっていますが、新たな化石発見が続いている地域には、必ず中心となって活動する地域の博物館が存在しています(上地図、左写真参照)。

昨年報道された熊本県八代地域の恐竜化石は、村上浩二氏(合志市在住)によって発見され、御船町恐竜博物館に持ち込まれたものです。この発見によって、一部に川や湖で堆積した地層が挟まれていることがわかってきました。

このように、陸上環境でできた地層の存在が恐竜化石発見の鍵を握りますが、それだけでなく、地域に博物館が存在し、しっかりと活動していることも化石発見にとって重要な要素のひとつであるということがわかります。